

# 間伐材の生産性に関する調査

鹿児島県大隅農林事務所 本町 俊雄

## 1. はじめに

戦後積極的に推進してきた人工造林地は間伐期を迎えているが、間伐問題は林業界にとって今最重要課題となってきた。「間伐をどう進めるか」といったことになるが、労賃がかさんで伐出が思うように進まない。また、小径木の需要が少ないといった不利な条件等が重なり間伐が推進されない現況である。

間伐材の生産費のうち最も比重の大きい伐採費、小運搬費について材積、小運搬距離等が遠うことによりどのように生産費が異なるか伐木造材より市場までの一貫した作業を行った55件について調査した。

## 2. 調査結果と考察

1), 1ヶ所当りの生産量、1ヶ所当りの生産量は5㎡以下が26件で全体の47.3%を占め平均材種は3.2㎡である。5～10㎡の生産ヶ所は18件の32.7%で平均材積7.1㎡で材積が増すごとに件数が少なくなり20㎡以上の所は僅かに3件と全体の5.5%にすぎない。

10㎡未満が44件で全体の80%を占めいかに小面積の間伐かがわかる。(表—1)

2), 1㎡当り平均生産費 1㎡当りの平均市場価格は25,573円であり、そのうち生産費は44.4%の11,348円となり手取額11,225円で販売額の55.6%を占め十分採算の合った間伐生産となっている。

生産費の中で最もウエートを占めるものは、伐採費、小運搬費、運搬費で伐採費2,662円の23.5%、小運搬費4,316円の38.0%、運搬費1,398円の12.3%で、計8,376円で全体の73.8%を占めている。

伐採費は材積、径級、地形。小運搬費は材積、地形、道路の有無等により経費の差異がみられるが、伐採費においては最低の1,578円、最高4,900円で約3倍の格差である。また小運搬費では2,010円より9,000円と相当の開きが出ている。

このような関係で生産費においても1㎡当り5,755円より16,174円と約3倍の大きな格差がある。(表—2)

3), 小運搬距離別による生産費、小運搬距離300m以下での生産費は8,019円に対し700m以上では10,994円となり300m以下に対し2,975円の増加で小運搬距離が遠くなるにつれ高くなっている。

素材の販売価格に対する生産費比率は300m以下40.2%、400～600mで42.9%、700m以上では52.7%と距離が遠くなるに従って高いウエートを占めている。

生産費の内訳をみると、小運搬費の占める率が最も高く300m以下の3,464円、400～600mの4,131円700m以上が5,916円となり、比率は43.2%、47.4%、53.8%と距離が長くなるにしたがって高い比率となっており、小運搬距離が生産費に占めるウエートが大きく、小運搬距離により、生産費が左右されることがわかる。なお距離別の生産費の最低、最高は、300m以下5,755円～10,483円、400～600mで5,987円～11,363円、700m以上8,375～16,174円であった。素材価格に対する生産比率は26.5%より最高は84.3%で最も手取額の少ないもので15.7%であった。(図—1)

4), 小運搬距離と生産者の関係、小運搬距離別の生産者については先に述べたが、ここでは小運搬距離と生産費の関係について示してみた。

300m以内での1㎡当り小運搬費は2,000円より6,500円と大きな差があるが、200mの所での平均生産費約3,000円、300mで約3,500円、500mで、約4,500円となり100mより500mまでは100mにつきおおむね500円高となっている。700mで5,000円、1,000mで5,500円となるが運搬距離が遠くなるに従って生産費の上昇がゆるやかになってきている。(図—2)

5), 材積量による生産費、伐採費、小運搬費等はそれぞれの条件により経費の差があるが、伐採量が多くなればなるほど生産費が割安になり、伐採量の大小が生産費を左右させる大きな要因となっていることがわかる。

5㎡以下では9,338円が生産費に対し、10㎡以上では8,373円で5㎡以下に比し965円安で10%の生産費割安である。

部門別についてみると伐採費では特にその差が大きく5㎡以下では2,868円に対し、10㎡以上では2,393円と475円も経費安で17%の格差がでている。なお小運搬費では355円安で8%とそれぞれ量が大きくなるに従って経費安となってきている。(図—3)

## 3. むすび

間伐を実施させるためには、間伐材の生産費を軽減

し、森林所有者の手取額を増大させることも一つの要因である。

間伐材の生産費の中で最も経費を要するのは小運搬費で、この経費をどれだけ軽減させるかが大きなポイントである。

そのためには搬出を容易にする必要があり、高密度

表-1 1ヶ所当りの生産量

| 区分   | 5m <sup>2</sup> 以下 | 5~10  | 10~15 | 15~20 | 20m <sup>2</sup> 以上 | 計    |
|------|--------------------|-------|-------|-------|---------------------|------|
| 件数   | 26                 | 18    | 6     | 2     | 3                   | 55   |
| 平均材積 | 3.2                | 7.1   | 12.0  | 15.5  | 25.6                | 7.1  |
|      | 47.3%              | 32.7% | 10.9% | 3.6%  | 5.5%                | 100% |

(昭和52.4.調)

表-2 1m<sup>3</sup>当りの平均生産費

| 区分                     | 金額     | 比率            |
|------------------------|--------|---------------|
| 生産費                    | 伐採費    | 2,662 (23.5%) |
|                        | 小運搬費   | 4,316 (38.0%) |
|                        | 運搬費    | 1,398 (12.3%) |
|                        | 労災費    | 299 (2.6%)    |
| 市場費                    | 管理費    | 360 (3.2%)    |
|                        | 小計     | 9,035         |
|                        | 市場経費   | 2,313 (20.4%) |
| 計                      | 11,348 | (100%)        |
| 1m <sup>3</sup> 当り素材価格 | 25,573 |               |
| 差引支払額                  | 14,225 | 55.6%         |

の道路網が必要である。それには作業道等の開設が急務である。

また現在の間伐は集団的なものではなく散在した間伐であるので、地域又は流域ごとの間伐推進を行えば量的にまとまり、相当な経費節減ができるのでは非実行し採算性の向上をはかる必要がある。

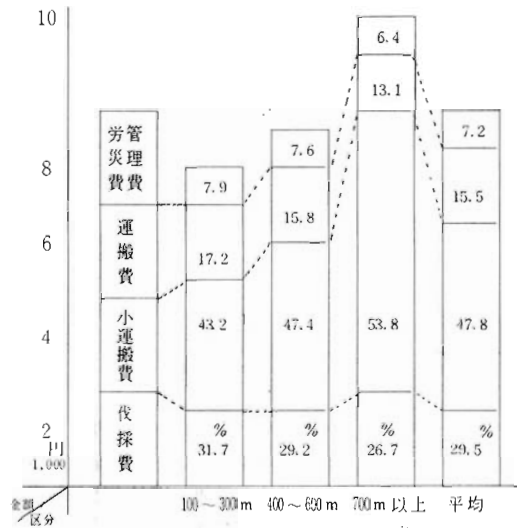


図-1 小運搬距離別による生産費 (m<sup>3</sup>当り)

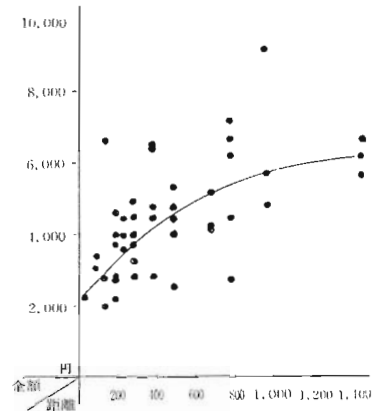


図-2、小運搬距離と生産費の関係

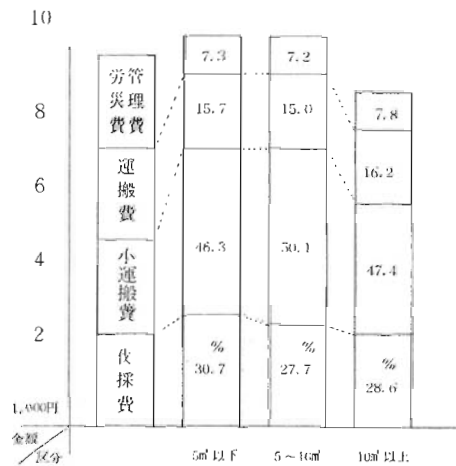


図-3 材積量による生産費 (m<sup>3</sup>当り)